

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査結果の分析 【村立中学校】

【国語】

本校の平均正答率は大阪府平均を少し上回り、全国平均を少し下回るといった結果でした。

領域別に見ると、「書くこと」の正答率が、全国・大阪府を大きく上回り、文章を構成する力に強みがあります。しかし、「読むこと」の正答率は、全国・大阪府のいずれに対しても下回りました。

問題形式別に見ると、記述式や短答式の問題の平均正答率が大阪府の平均をやや上回りましたが、記述式の平均正答率は、大阪府の平均をやや下回りました。

設問ごとに見てみると、「単語の活用について理解しているかどうか」を見る問題や、「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうか」を見る問題は、全国・大阪府の正答率より上回りました。一方で、「情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうか」を見る問題や「互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうか」を見る問題では、課題が見られました。

今回の結果から、書く力の成長を感じ、文章を論理的に構成する基礎力は備わっています。しかし、読むことや記述式の問題に課題が見られたように、文章の表面的な意味は捉えられても、段落相互の関係や展開の意図を構造的に理解する段階まで至っていない可能性がありますので、情報の「見える化・図解化」を全教科で実施し、タイムラインやマインドマップ等を用い、情報の流れや構造を視覚的に整理する活動を取り入れたり、いきなり長文を書くのではなく、「～だから、……」というテンプレートを活用したり、1～2 文程度の短い理由説明から始めたりする活動の充実を図っていきます。



【英語】

本校の平均正答率は、「聞くこと」は大阪府平均を少し上回り、「読むこと・書くこと」は大阪府平均・全国平均を少し上回りました。

設問ごとに見ると、「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうか」を見る問題や「日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうか」を見る問題では、全国・大阪府の正答率を大きく上回りました。一方で、「日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうか」をみる問題や「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうか」を見る問題では課題がみられました。

今回の結果から、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のどの領域の正答率も全校平均と同等以上であり、バランスよく力がついてきていると感じています。しかし、個々の語句は聞き取れても、文脈全体の流れ（時系列）を整理して把握する力に課題がみられますので、構造的・時系列的な理解を強めるためにも、内容を単に確認するだけでなく、チャートやタイムラインを用いて情報を整理・見える化する活動を充実させていきます。



4月に全国学力・学習状況調査（国語・数学・英語・生徒質問調査）が、3年生を対象に実施され、英語・生徒質問調査は、タブレット PC で解答・回答する形式で行われました。本校の今年度の結果の分析をお知らせします。

【数学】

本校の平均正答率は大阪府平均を少し上回り、全国平均を少し下回るといった結果でした。

「数と式」「関数」「データの活用」の領域で大阪府平均を上回りましたが、「図形」の領域には課題が見られました。

問題形式別に見ると、選択式・短答式の問題の平均正答率は大阪府平均・全国平均を上回りましたが、記述式の問題には課題が見られました。

設問ごとに見ると、「具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうか」を見る問題や「箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうか」を見る問題などは、全国・大阪府の正答率より上回りました。一方で、「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうか」を見る問題や「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうか」を見る問題では、課題が見られました。

今回の結果から、「数と式」の領域の正答率が高かったように計算等の基盤となる力の成長を感じます。しかし、図形の性質の理解や証明、データの傾向を比較して説明する力に課題が見られますので、数学的な用語や客観的な根拠を用いて言語化する時間を増やしたり、「なぜそう判断したか」をペアやグループで説明し合ったりする場を充実させていきます。



【生徒質問調査】

《肯定的な回答の割合が高い項目》

- ・朝食を毎日食べている
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- ・数学の勉強は得意
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる

《肯定的な回答の割合が低い項目》

- ・毎日、同じ時刻に寝る
- ・学校の勉強のことや悩みについて、親や家族と話す
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる

